	ごいけん がいよう 御意見の概要	ごいけん たい かんが かつ 御意見に対する考え方
べっし だい せいたう りゆう ほんだん してん 別紙 第2 (正当な理由の判断の視点)		
1	かいせい かしよ そうほう もと 改正箇所「双方が・・・求められる」につい て、職員向けの対応要領において障害者へ の要求事項を記載するのは不相当である。	ごしてき れいじ きほんほうしん もと きさい 御指摘の例示は基本方針に基づき記載したも のであるため、いずれも原案のとおりとさせてい たきます。
べっし だい ふとう さべつてきとりあつか れい 別紙 第3 (不当な差別的取扱いの例)		
2	せいたう りゆう ふとう さべつてきとりあつか れい (正当な理由があるため、不当な差別的取扱 いに該当しないと考えられる例)のうち、「○ 車椅子の利用者が畳敷きの個室を希望した 際に」は「個室の使用を希望」のほうがよい。	ごしてき ふ つぎ しゅうぶん 御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 ○車椅子の利用者が畳敷きの個室の使用を希 望した際に、敷物を敷くなど、畳を保護するた めの対応を行う。(行政機関の損害発生を防 止の観点)
べっし だい ごうりてきはいりよ きほんてき かんが かつ 別紙 第4 (合理的配慮の基本的な考え方)		
3	つぎ きじゆつ じれい くわ 次の記述と、事例のいずれかを加える。 (記述) 「あらゆる相談や接遇の最初に、本人の希望 を聞きとり、それを尊重するルールをもつ。あ らゆる偏見を廃して、本人の話をよく聞くこ とから始める。」 「障害福祉サービスの提供に当たっては、利 用者の意向を踏まえ、本人の意思に反した異性 介助が行われることがないよう取組を進め る。」 (事例) ・入院先で日常的に異性介助が行われて いる。女性の入浴や排泄や夜勤時の介助は女 性の従事者にして欲しいと希望を出しても、 対応されなかった。 ・被害について、警察に話したが、目が見えな いのに加害者についてわかるはずがない、知的 障害があるから確かな話ではない、などの見 方をされ、自分の話を信じてもらえなかった ことがある。 ・障害があるので妊娠や出産や子育ては大 変だと、繰り返し言われてきたので、無理なの かなと思ってきた。 ・障害がなかったころは積極的に産むように 言われていた。障害をもつようになってから妊 娠したときには、中絶を勧められた。 ・グループホームにて利用者がカップルで暮ら すにあたって、妊娠の可能性があると理由か ら、施設側が不妊処置を勧め、結果として、利	べっし だい ごうりてきはいりよ きほんてきかんが かつ 別紙 第4 合理的配慮の基本的な考え方にお いて、障害者本人の意向を尊重しつつ、双方 の建設的対話による相互理解を通じて、必要か つ合理的な範囲で柔軟に対応がなされる必要 があるとしています。 また、障害者の性別、年齢、状態等に配慮 するものとし、特に障害のある女性に対しては、 障害に加えて女性であることも踏まえた対応 が求められることに留意することとしています。 頂いた御意見については、今後の参考とさせ ていただきます。

ようしゃ ふにんしよち せんたく
 用者が不妊処置を選択した。
 ・車いすユーザーの立場で、子育てについて福祉の窓口にご相談した。障害のない保護者と同様に子どもと一緒に公園等に行きたいという願いが理解されず、外出時の育児支援はいままでに得られていない。

4

つぎ きじゆつ じれい かだい しめ
 次の記述と、事例のいずれか（課題を示す事例および好事例）を加える。
 (記述)
 「女性からの相談は女性が受ける窓口態勢をとる。」
 「女性の接遇は女性がすることを基本とする。」
 「従事者の研修において、障害に加えて女性であることによる経験や課題について当事者から学ぶことを、必修プログラムに組み入れて実施し、業務や啓発に反映する。」
 (事例)
 ・月経時のことについて相談窓口に詳しく話さなければならない場面があって、担当者は男性ばかりだったので話しづらかった。
 ・女性に対する暴力の相談にたずさわる担当者の研修に、毎回、「障害のある女性と複合差別」を設けて、それぞれ障害の異なる複数の女性を講師として招き、全員で意見交換を行っている。
 ・災害の防止や救援にかかわる担当者の必修研修に、災害時の障害のある女性ゆえの経験をテーマに、地元で課題に取り組んでいる障害のある女性を講師に招き、意見交換し、業務に反映させている。
 ・ガイドヘルパー予約の際に「買い物のガイドだから男性のガイドヘルパーでもいいですか？」と対応されがち。女性として同性のガイドヘルパーを希望する。“排泄や入浴などの介助ではないから男性でもいいでしょう”という見方から転換して、合理的配慮として認識してほしい。

べっし だい ごうりてきはいりよ きほんてきかんが かた
 別紙第4 合理的配慮の基本的考え方において、障害者本人の意向を尊重しつつ、双方の建設的対話による相互理解を通じて、必要かつ合理的な範囲で柔軟に対応がなされる必要があるとしています。
 また、障害者の性別、年齢、状態等に配慮するものとし、特に障害のある女性に対しては、障害に加えて女性であることも踏まえた対応が求められることに留意することとしています。
 頂いた御意見については、今後の参考とさせていただきます。

5

つぎ きじゆつ くわ かだい おお げんじょう
 次の記述を加える。かつ、課題の多い現状について事例から伝わるように、下記のいずれかの事例を加える。
 (記述)
 「包括的性教育の実施に取り組む。」
 (事例)
 ・特別支援学校で「虹の輪」という言葉で、他人と距離をとるように指導された。
 ・教員に服を脱ぐようにいわれ、教員の言うことなので従うしかなく、性行為の直前で他者に発見された。本人（障害のある女生徒）

きょういくぶん や しょうがいしゃ さべつ かいしょう
 教育分野における障害者差別を解消するための措置については、別に定められるものであり、御意見は本要領の対象ではないと考えます。

はおかしい、いやだと思っおもてはいたが、教員きょういんに
 いわれたことは従したがうように教おしえられてきたた
 め、抵抗たいこうしたり、助けを求めたする声もとをあげたりす
 ることはできなかつた。
 ・妊娠にんしんを望のぞんでいなかったが、交際相手こうさいあいてが避妊ひにん
 をせず、性行為せいこういをした。そのことたいに対して「抵抗
 もせず、何も言なにわなかつた」ため、同意どういしてい
 るとみなされ、妊娠にんしんを回避かいひできなかつた。
 ・妊娠にんしんの自覚じかくがあつたが、医療機関いりょうきかんに行いって
 受診じゅしんすることができず、周囲しゅういに相談そうだんすること
 もできなかつた。

6
 次の記述つぎ きじゆつを加くわえる。かつ、事例じれいのいずれか
 を加かえる。
 (記述きじゆつ)
 「障害別しょうがいべつおよび性別せいべつによって特定とくていの職業しよくぎようや
 職種しよくしゆに結びつける対応たいおうや進路しんろを狭せばめる対応たいおうを
 しない。本人ほんにんの希望きぼうと適性てきせいを職業しよくぎよう選択せんたくに活
 かせるようたいおうに対応する。」
 (事例じれい)
 ・知的障害ちてきしょうがいのある女性じよせいだからと、いつも手仕事てしごと
 が用意よういされた。どんな仕事しごとをしたいか、希望きぼうを聞
 かれたことがない。
 ・「聴覚障害ちやうかくしょうがいがあるから、人と会話ひと かいわすること
 がない、手を動かうごかす仕事を」と、小學校低学年しょうがっこうていがくねん
 から推奨すいしょうされた。女性じよせいには縫製ほうせいや理髪りはつの職
 業ぎようコースがあつた。本人ほんにんの希望きぼうや適性てきせいとはか
 けはなれているために離職りしよくした人も多おほい。
 ・「修士課程しゆし かにていの次つぎには博士課程はかせ かにていに進すすみ、大学
 で研究けんきゆうしや者がんばとして頑張きやういんりたい」と教員つたに伝え
 たところ、「あなたはろう者しやで女性じよせいだから大学
 への就職しゆうしよくはできない。研究所けんきゆうじよにしか就職しゆうしよく
 さき先さきはない」と言いわれた。

雇用分野こようぶんやにおける障しょう害がい者しや差別さべつを解かい消しょうするた
 めの措置そちについては、別べつに定められるものであり、
 御意見ごいけんは本要領ほんようりようの対たい象しょうではないと考かんがえます。

別紙 第6 (合理的配慮の例)

7
 (合理的配慮ごうりてきはいりよに当たり得る物理的環あ境えへの
 配慮はいりよの例)のうち、
 「○イベント会かいじよう場じようにおいて障しょう害がい児じの行こう動どう障しょう
 害がいが発はつ生せいした場合ばあいに、保ほ護ご者しやから子こ供どもの特とく性せい
 やコこうミュみニにケけいーえいシしョよくンんの方ほう法ほう等とうについ
 て聞き取きった上とで、落おち着つかない様よう子すのときこは個こ室しつ等
 につい

御指摘ごしてきを踏ふまえ、次つぎのとおり修しゆう文ぶんします。
 ○イベント会かいじよう場じようにおいて障しょう害がい児じの行こう動どう障しょう
 害がいが発はつ生せいした場合ばあいに、その保ほ護ご者しやから障しょう害がい児じ
 特とく性せいやコこうミュみニにケけいーえいシしョよくンんの方ほう法ほう等とうについ
 て聞き取きった上とで、落おち着つかない様よう子すのときこは個こ室しつ等
 につい

8
 「合理的配慮ごうりてきはいりよの提てい供きよう義ぎ務むに反はんしないと考
 えられる例れい」を挙あげる場ばあい合がくは、拡かく大だい解かい釈しゃくされ
 ないよう十じゆう分ぶん注ちゆう意いした上うえで慎しん重ちゆうに行おこなうべ
 きである。

御指摘ごしてきの例示れいじは基き本ほん方ほう針しんに基もとづき記き載さいしたも
 のであるため、いずれも原案げんあんのとおりとさせてい
 ただきます。なお、掲載けいさいされている例れいはあくまで
 も例示れいじであり、個別こべつの事案じあんごとに判はん断だんすること
 が必ひつ要ようである旨むね記載きさいしています。頂いただ
 ないよう
 は、御意見ごいけんとして承うけたまわる、今こん後ごの参さん考こうとさせて
 いただきます。

<p>9</p>	<p>か き いんよう ないかく ふ ほん ふ しょかん じぎょうたいおう しん 下記引用の内閣府本府所管事業 対応指針 あん きじゆつ じれい くわ 案に記述されている事例を加える。 ないかく ふ ほん ふ たいおう しんあん いんよう (内閣府本府対応指針案から引用) ごうり てきはいりよ ていきょう かんきょう せいび かんけい かか 合理的配慮の提供と環境の整備の関係に係 れい る例 もうしこみてつづき ひつよう ばあい て オンラインでの申込手続が必要な場合に、手 つづき おこな しょうがいしゃ 続を行うためのウェブサイトが障害者にと りよう って利用しづらいものとなっていることから、 てつづき さい しえん もと もうしで 手続に際しての支援を求める申出があった場 あい もと おう でんわ でんし たいおう 合に、求めに応じて電話や電子メールでの対応 おこな ごうり てきはいりよ ていきょう いご を行う(合理的配慮の提供)とともに、以後、 しょうがいしゃ もうしこ さい ふ べん かん 障害者がオンライン申込みの際に不便を感 かいりよう じることのないよう、ウェブサイトの改良を おこな かんきょう せいび 行う(環境の整備)。</p>	<p>ごしてき ふ つぎ きさい ついき 御指摘を踏まえ、次の記載を追記します。 もうしこみてつづき ひつよう ばあい ○オンラインでの申込手続が必要な場合にお てつづき さい しえん もと もうしで いて、手続に際しての支援を求める申出があ ばあい もと おう でんわ でんし った場合には、求めに応じて電話や電子メール たいおう おこな での対応を行う。 ほんようりよう ほうだい じょう きてい じこう また、本要領は、法第7条に規定する事項 かん さだ に関して定められるものであり、ウェブサイトの かいりよう かんきょう せいび べつと てきせつ 改良などの環境の整備については、別途、適切 たいおう に対応してまいります。</p>
----------	---	--